



2026 みやざきの農業農村整備計画

農業農村整備計画

宮崎県のあらまし

■県土の概況
本県は九州の東南部にあり、太平洋に面して明るく太陽光豊かなところから、古来「日向」のくにと呼ばれてきました。気候は温暖で、九州山脈を背にして緑豊かな「太陽と緑の国」そのまの美しい土地を形づけております。

本県は天孫降臨神話などの歴史ロマンを感じさせる伝承や歴史資源を数多く有しており本発祥の地とも称され、日本の美しい原風景である山麓農村や人情あふれる民衆性など、日本の原点ともいえる個性と魅力を備えています。

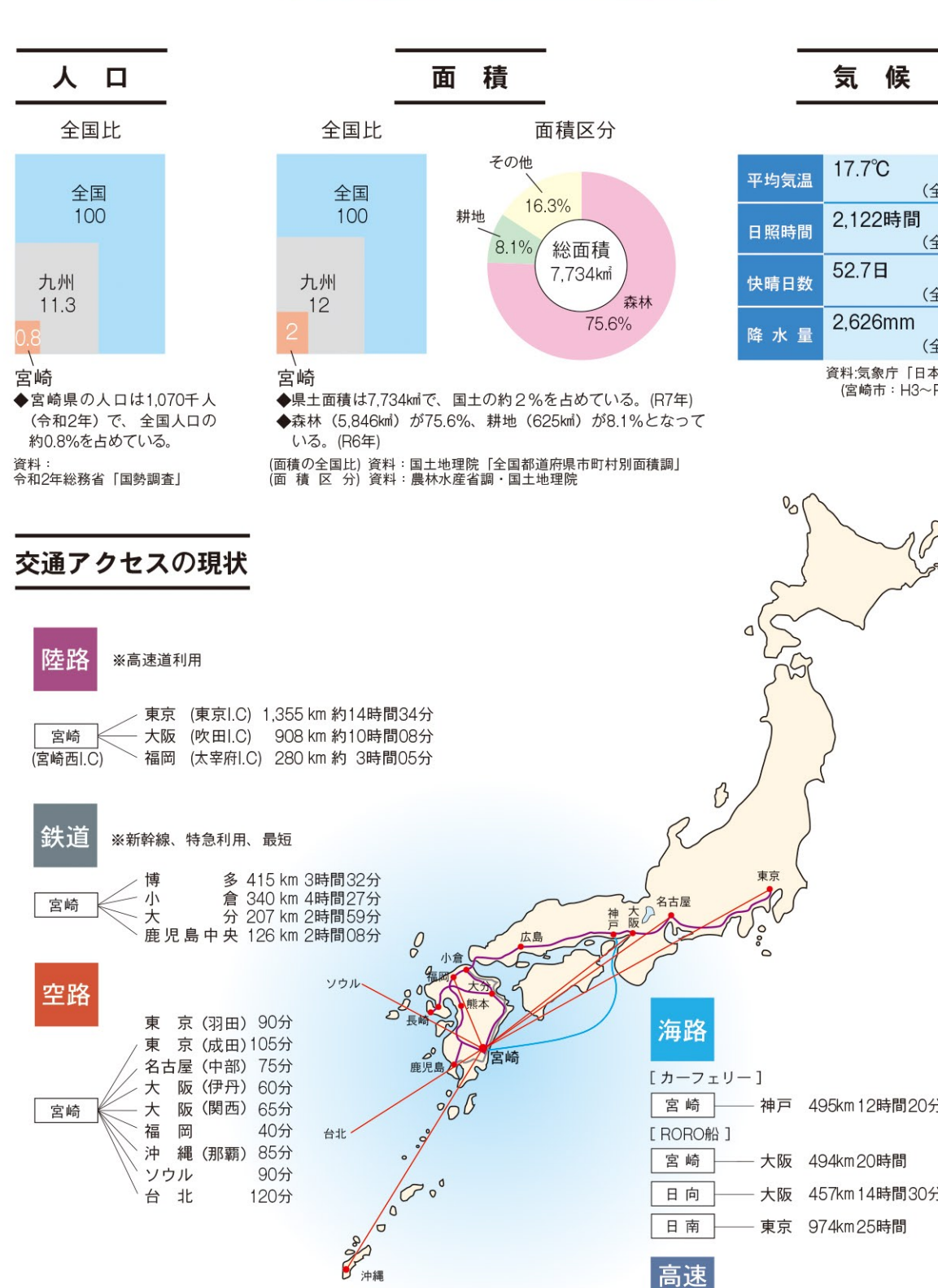
本県の地形は、県北部から南西に連なる九州山脈、県西南端の霧島山群など山岳地帯が多く、山林原野が総面積の7割強に達しており、農地面積は8.1%にすぎません。農地は、中部沿岸地帯および霧島盆地に過半数が分布し、その他県内を横断して太平洋にそく河川の流域沿いに主として分布しています。

■農業の概況
本県は、農業生産力の低い火山性土壌が、畑地を中心に広く分布していることや、集中豪雨や台風等の影響による自然災害を受けやすいこと、大都市から遠隔地にあるなどの不利な条件もありますが、太陽と緑の国で象徴されるように温暖な気候に恵まれており、日照時間、快晴日数は全国でもトップクラスにあり、このような恵まれた条件を生かしながら農業が発展し続けています。また、令和5年3月には東九州自動車道(清武南IC～日向IC)間(延長18.8km)が開通しました。県内主要都市間等を概ね1時間以内で結ぶ「県内1時間圏」、空港港湾の整備など陸・海・空の総合交通網の整備が確実に進んでいます。本県の農業産出額は令和6年で、3,725億円となっています。この農業産出額のうち、肉用牛、豚、鶏、野菜およびお8割を占めており、畜産と野菜に特化しています。

■世界農業遺産「高千穂郷・椎葉山地域」
世界農業遺産とは、その土地の環境を生かした伝統的な農業・農法、生物多様性が守られた土地利用、農村文化・農村景観などを「地域システム」として一体的に維持保全し、継承していくことを目的として、国連食糧農業遺産(GIAHS)に認定されるもので、令和7年11月現在、世界中で29カ国104地域、そのうち日本では17地域が世界農業遺産(GIAHS)に認定されています。

■日本農業遺産
本県は、気候風土を最大限に活かした、年間を通じた露地野菜と「干し野菜」の技術を多角的に組み合わせ、露地畑作の高度利用システムが展開してきた「田野・清武地帯」と、SDGs(持続可能な開発目標)にも合致する伝統的栽培方法であり、造材材に特化した人工造林を行った特殊な軟材林業と結びつき、地域を支える産業として継承され、日向かつお一本釣り漁法の2地域が認定されています。

宮崎県の概要



宮崎県の紹介

宮崎県の観光・文化・産業に関する紹介ページ。宮崎県庁、宮崎県観光局、宮崎県観光協会などのリンクが掲載されています。

宮崎県のシンボル。県花(アザミ)、県木(スギ)、県鳥(アサギドリ)の紹介。また、宮崎県の歴史や文化に関する情報も掲載されています。

第八次宮崎県農業・農村振興長期計画

第八次宮崎県農業・農村振興長期計画の概要。基本計画、地域別ビジョン、産業政策の推進などについて詳しく説明されています。

農業農村整備事業の予算

年度	昭50年度	昭60年度	平成7年度	平成15年度	平成21年度
補助金事業	4,701,067	15,908,470	24,411,454	20,627,499	10,542,192
県単公共事業	189,783	507,318	5,770,194	3,991,138	567,588
直轄負担金	-	-	1,999,866	2,221,920	3,525,524
災害復旧事業	495,086	1,401,412	5,445,941	2,934,468	2,959,091
計	5,385,936	17,817,200	37,627,445	29,775,025	17,584,385
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
補助金事業	8,462,257	8,463,023	8,463,272	8,515,744	8,150,288
県単公共事業	258,739	240,739	242,239	241,739	241,739
直轄負担金	803,498	649,000	1,487,733	745,179	863,387
災害復旧事業	2,959,091	2,959,091	2,959,091	2,959,091	2,959,091
計	12,483,585	12,311,853	13,152,335	12,461,753	12,214,505

本県農業の概要

本県農業の概要。主要関連指標、農業産出額の推移、地域別農作物マップ、農業農村整備関係機構図、農業産出額・主要品目の収穫量・飼養頭羽数、全国シェア及び順位、みやざきブランド、推進のための6つの戦略、商品ブランド産地認定一覧表などについて詳しく説明されています。